

質問 政府は昨年8月「子供の貧困対策に関する大綱」を閣議決定した。今、子どもの6人に1人、約300万人が国の基準として「貧困ライン」以下で生活をしている。町の人口減や不登校に歯止めを掛けるためにも、

大坪 国広 議員（日本共産党）

学校の給食費無料化で人口減に歯止めを

町長 給食費無料化が人口減少を抑制するとは思えない

町長 小・中学校の給食費無料化を検討すべきと考える。次の3点について町長、教育長の所見を伺う。

問① 町の児童・生徒の給食費無料化に掛かる費用は、

町長 26年度実績で、約1億円。なお、準要保護世帯の給食費は就学援助費で補助している。

問② 現在の町の貧困率は、

町長 貧困率は、OECDの作成基準に基づき算定され、市町村単位の集計できるものではないので、算定は困難。

問③ 町の人口減や不登校に歯止めが掛かると思うがどうか。

町長 人口減少は、様々な要因が複合的に関係しているものであり、給食費の無料化が直接的に人口減少を抑制するとは思えない。



給食センターで調理をしている様子

こんな質問もありました
栗原地区土地区画整理事業は凍結すべき。都道179号線歩行者の安全対策は。

町長 時間がかかっても行つのが望ましい。都道は、仮歩道を設置したい。

不登校の直接原因が給食費にあるとも考えられない。



小野 芳久 議員

芝生化された校庭を消防団の訓練場所と地域の利用に

町長 芝生化された校庭では訓練はできない

質問 本年は消防団の改選期であり、操法大会の年でもある。各分団は、日夜厳しい訓練に励んでおり、その結果が東京・西多摩大会に反映される。訓練のために消防車が入れる場所が必要である。町は小中学校校庭の芝生化を進めているが、様々な団体が利用時に芝生を傷める可能性がある。そこで、次の点について伺う。

町長 芝生化された校庭では訓練はできない。夜間利用時には、近隣の人の理解を得た上で、投光器などの夜間照明の使用を計画している。また、そのほかの公共施設利用を事前に確認し、許可している。

問① 消防団の訓練場所の確保と夜間の照明設備は、

町長 芝生化された校庭では、消防団の操法訓練はできない。石畑会館の隣接地約2、900㎡を災害医療拠点として取得予定である。通常時には、消防団の訓練場所としても利用



中学生有志によるダンス披露（27年3月の瑞中芝開き）



尾作 武夫 議員（自民新政法）

住みやすい地域環境こそ、真の観光振興では

町長 活力のある町をつくるべく観光振興につなげる

質問 地域おこしを推進していくうえで、そこに住む住民が主役で「この地域に住んでよかった」と思われることが重要である。その原点は決して外へ売り込むことではない。観光客対応や特産品開発といった、外への対応はあくまでも手段である。地域おこしの目的は内なる対応を充実させることである。住民が自慢できる魅力ある地域は、外の人へも強烈にアピールできるからである。そこで、住みやすい地域環境こそ、真の観光振興と

加する意識を持ち、積極的に行動することが重要と考える。瑞穂町の人や自然、文化、歴史など様々な要素が互いに連携し合いながら活力のある町をつくるべく、つなげるよう努める。

町長 「けやき館」を中心に情報発信を強化し、町の魅力を伝えるとともに、観光振興につなげるよう努める。

町長 地域に誇りを持ち、これからの住み続けたいと思える地域づくりをするためには、地域の行事や活動に参



26年11月に開催された産業祭

森 亘 議員（自民新政法）

学習状況調査の結果をどう生かすのか

教育長 27年度から「フューチャースクール」を実施する

質問 26年度の全国学力・学習状況調査において、わが町の児童・生徒は、全国・都の平均に対し、学校以外の学習時間が少ない一方で、ゲーム、メール等の使用時間が大きく上回っていた。また、学力以外にも地域行事への参加率がかなり下回っており、町の教育力向上への課題が浮き彫りとなった。この結果について、町および教育委員会は、どのように受け止め、今後どのように取り組んでいくのか町長、教育長に所見を伺う。

教育長 調査の結果から、学校以外の学習などに費やし学力向上が図られていないとの相関関係が見て取れる。そこで、二つの方向から問題の解決を図る。一つ目は、児童・生徒のソーシャルネットワーク上の安全管理や過度な利用の抑制を指導する。さらに家庭内指導の徹底を求めていく。二つ目は、学校以外の学習時間の機会を確保



新入生を歓迎する2年生（一小入学式）

こんな質問もありました
少子化問題、各種団体の定数見直しを考慮すべき
町長 見直しが必要か考える。

保するため、27年度から中学生を対象に、土曜日と長期休業中に「フューチャースクール」を実施する。